

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 91214 単位数 : 2

科目名	社会科教育法C（公民含）	科目責任者	仁尾 泰明
課題と試験担当教員	仁尾 泰明		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC360		

■ 科目概要

中学校社会科教育の実践にあたって必要な授業理論・授業実践を学ぶとともに、学習指導案の基本的構造を理解し、学習指導案作成の力量を身に付けます。そして、授業づくりの実際を学び、それらを検討することによって授業の実践能力の基礎を養います。

■ 到達目標

1. 中学校社会科教育の目標、内容、内容構成、内容の取扱いについて理解します。
2. 社会科授業における学習指導案の構成を理解し、学習指導案を正しく作成することができます。
2. 中学校社会科の授業実践を行うための力量を身に付けます。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
『中学校学習指導要領解説社会編』 1 2 (1)	〔公民的分野〕 目標 内容 私たちと現代社会
(2)	私たちと経済
(3)	私たちと政治
(4) 3	私たちと国際社会の諸課題 内容の取扱い
第3章指導計画の作成と内容の取扱い 1 2 3	指導計画の作成上の配慮事項 資料等の活用と作業的、体験的な学習 政治及び宗教に関する事項の取扱い
『社会科教育の創造』 第2部授業づくりの方法 第1章授業づくりの方法・技術と理論 第1節 1 2 3	授業づくりのプロセスと社会科の目標 授業の目的 社会科の本質と目標 授業づくりの要素とプロセス

学習範囲 該当する章など	学習内容
第2節 1 2 3	社会科の学習過程 学習過程と指導過程 問題解決学習と系統学習 その他の学習過程
第3節 1 2	学習形態と指導技術 学習形態 指導技術
第3章指導計画と 学習指導案 第1節 1 2 3 4 5	年間指導計画と単元指導計画 指導計画の意義 指導計画の種類と構造 社会科の指導計画における小学校・中学校の相違 年間指導計画 単元指導計画
第2節 1 2 3 4 5 6	学習指導案の作成 学習指導案の意義 学習指導案の構成 コンピュータによる学習指導案の作成 学習指導案の動作主 「具体的」に書くということ 付属文書の作成
第4章評価の方法 と理論 第1節 1 2	評価の意義と種類 評価の意義 教育（学力）評価の種類
第2節 1 2 3 第3節 1 2 3	授業分析と評価 授業分析とは何か 授業分析の仕組み 教育（学力）評価の機能 観点別評価の内容と方法 観点別評価の概要と形式 観点別評価と評価基準 観点別評価と評定の関係
第2章各分野の学 習指導の展開 第4節 1 2 3 4 5 6	公民的内容の学習指導 公民学習の基本構想 現代の社会変化をとらえる学習 政治の学習 経済の学習 国際社会の学習 授業の計画と展開
第3部授業づくり の実践 第6節	中学校公民的分野単元名「私たちと政治」（単元の概要、授業づくりの視点、指導計画、授業の実際など）

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	まず、教科書で試験範囲を正しく把握します。それを踏まえて、試験範囲の内容をよく理解しながら、熟読して下さい。しかも試験範囲のどこから出題されても解答できるように、試験範囲をしっかり読みましょう。決して山をかけないように。試験勉強を通して、教師になるために必要な知識と技能を確実に身に付けるのだという気持ちで臨むとよいです。 教科書の内容について、その理解と習得を問います。

種別	評価基準
レポート	<p>レポートを作成する際に最も大切なことは、与えられた課題の題意をしっかり把握することです。課題が何を求めているのか、正しく認識し、それに対応した論理構成でレポートを組み立てていきます。なかには、これが不十分のいわゆる「的外れのレポート」が時々見受けられます。</p> <p>次に、大切なことは、自分の言葉で綴るといことです。教科書の該当する箇所をそのまま丸写しにしたものや、教科書や参考書の文章を切り貼りした継ぎはぎのものがありますが、いくら課題の題意を把握していても、レポートの価値はなくなってしまいます。平易な表現でもよいですから、内容をしっかり理解して自分なりの表現や言葉づかいでまとめて下さい。</p> <p>さらに、大切なことは下書きの段階で十分推敲を行うことです。下書きをよく読み、レポートを何回もチェックしましょう。推敲を何度も行うことによって、レポートを書くことに慣れ、また、レポートの完成度が高くなります。推敲の時間も十分取るように心掛けましょう。</p>

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：社会科教育の創造－基礎・理論・実践－

著者名：宮崎猛

出版社名：教育出版

出版年：2009.4

版：

刷：

ISBN：978-4-316-80261-9

■ 参考書

1. 『中学校学習指導要領解説社会編』日本文教出版 2008年 175円（これはもう一つの教科書として使いますので、「文部科学省学習指導要領解説」からダウンロードして下さい）
2. 『中学校新学習指導要領の展開 社会科編』明治図書 2008年 1700円
3. 『中学校新教育課程 社会科の指導計画作成と授業づくり』明治図書 2009年 1700円
4. 『思考力・判断力・表現力をつける社会科授業デザイン 中学校編』明治図書 2009年 1700円
5. 『中学校社会科新教材授業設計プラン』明治図書 2009年 1900円
6. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学地理モデル』明治図書 2011年 1600円
7. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学歴史モデル』明治図書 2011年 1600円
8. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学公民モデル』明治図書 2011年 1600円
9. 『言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】』教育出版 2012年 560円
10. 『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 社会】』教育出版 2011年 400円

■ 履修上のアドバイス

教科書を丁寧に読み、わからない語句や用語がないように辞書などでよく調べ、その上で内容全体も正確に把握して下さい。大切なことは、通読のレベルにとどまらず精読することです。

■ 自習時間

個人差がありますが、レポート1課題あたりの作成に20時間程度、科目試験の勉強に40時間程度が考えられます。

■ 担当者のプロフィール

1949年に北海道函館市で生まれ、神奈川県横浜市で育つ。
 関心を持つ分野は「地理学」「地理教育」「社会科教育」
 好きな言葉は「使命を自覚するとき、才能の芽は急速に伸びる」